

6.2 懇話会用説明資料

1) 生駒市の森林・林業をとりまく状況と課題

生駒市森林整備方針のあり方についての懇話会

1. 生駒市の森林・林業をとりまく状況と課題

令和 5 年 2 月 16 日

株式会社 森林コンサルタント  SHINRIN Consultant

1. 生駒市の森林・林業をとりまく状況と課題

① 生駒市の森林について

② 森林整備の現状

③ 木材産業に関する状況

1. 生駒市の森林・林業をとりまく状況と課題

① 生駒市の森林について

- 1) 森林の地域特性
- 2) 森林所有の状況
- 3) 森林資源

・・・ 森林簿からの分析



2

1. 生駒市の森林・林業をとりまく状況と課題

1) 森林の地域特性 -人工林率

生駒市の森林は淀川広域流域のうち、大和・木津川森林計画区に属し、その計画対象民有林面積は1,893.65ha(奈良県森林簿・2018年度樹立による)、うち人工林面積は221.03haである。人工林率は11.7%と、奈良県民有林全体の人工林率62%よりも低く、中部農林振興事務所管内の人工林率58%と比較してもかなり低い状況である。また、人工林は各地に分散しており、施業の集約化・共同化が行いにくい状況にある。

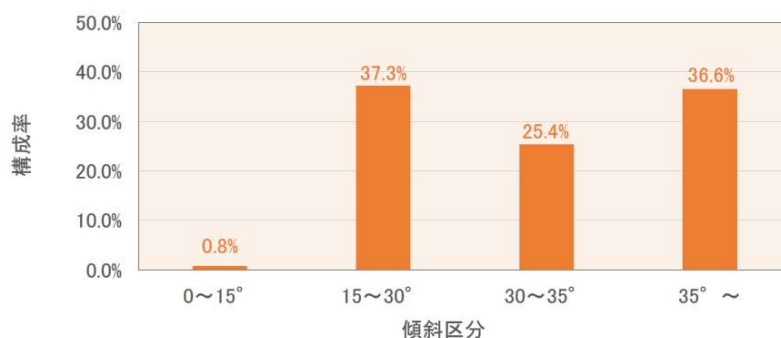


3

1. 生駒市の森林・林業をとりまく状況と課題

1) 森林の地域特性 -傾斜区分

生駒市の森林の傾斜区分は、30°以上の急傾斜地が1,173.02ha(「30～35°」および「35°～」の合計)で全体の61.9%を占めており、これに「15～30°」の中傾斜地を含めるとその面積は1,878.89haと全体の99.2%となり、中傾斜地以上の森林が広く分布している。逆に「0～15°」の緩傾斜地は14.76haであり、全体のわずか0.8%となっている。



1. 生駒市の森林・林業をとりまく状況と課題

2) 森林所有の状況

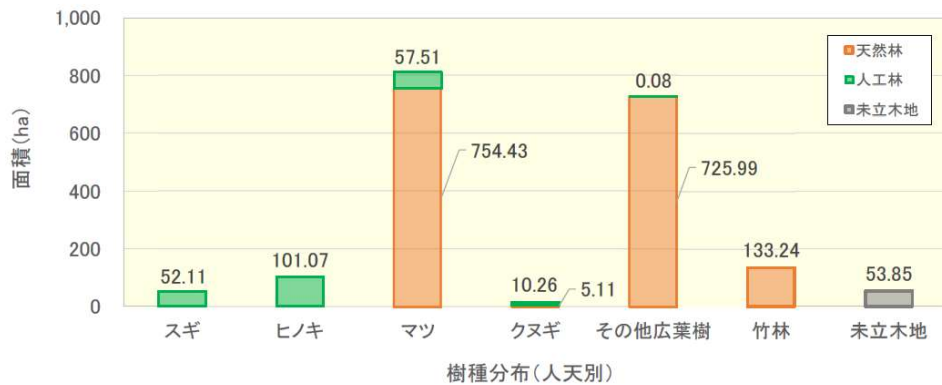
森林所有区分の内訳は、県有林68.31ha、市有林15.37ha、私有林等1,809.67haで、私有林等が全体の95.6%をも占める。私有林等の内訳は、個人有林が1,080.47haと最も多く、次いで会社有林の319.62ha、共有林の301.55ha、社寺有林の89.96haと続く。

区分		面積(ha)	比率(%)
国有林		—	—
県有林		68.31	3.6
市有林		15.37	0.8
私有林等	学校	5.46	0.3
	共有	301.55	15.9
	個人	1,080.47	57.0
	社寺	89.96	4.8
	会社	319.62	16.9
	その他	12.91	0.7
	小計	1,809.97	95.6
合計		1,893.65	100.0

1. 生駒市の森林・林業をとりまく状況と課題

3) 森林資源 - 樹種別分布

樹種別分布は、マツが811.94haで最も多く、次いでその他広葉樹の726.07haと続き、用材として期待できるスギおよびヒノキはそれぞれ52.11ha、101.07haと非常に少ない分布となっている。また、人天別面積によると、マツの内57.51ha、クヌギの内10.26haが人工林となっている。



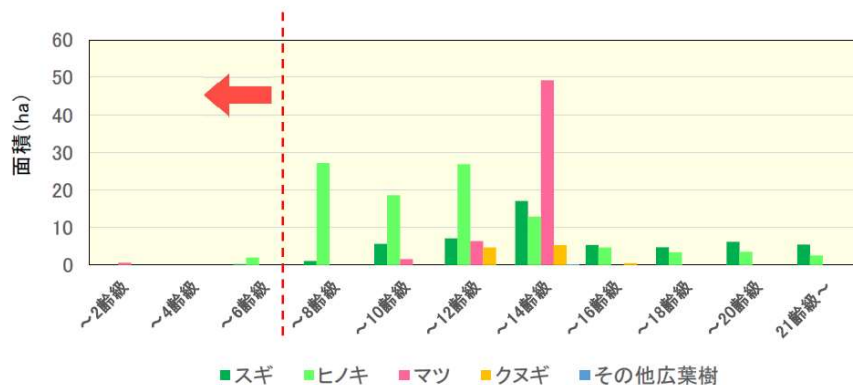
6

1. 生駒市の森林・林業をとりまく状況と課題

3) 森林資源 - 齢級構成

人工林の齢級分布では、マツ「～14齢級」が49.17haと最も多い。なお、ヒノキ「～12齢級」、「～8齢級」がそれぞれ26.80ha、27.13haとなっているほかは、大きな分布を示す樹種は存在しない。

全体的に8齢級未満の林分が少ない傾向にあり、特に4齢級未満の林分はマツの0.50haのみであり、地域林業の産業としての木材利用が少ないことが伺える。



7

1. 生駒市の森林・林業をとりまく状況と課題

② 森林整備の現状

- 1) 森林整備の基本方針
- 2) 森林簿との現状乖離
- 3) 地籍調査の進捗状況
- 4) 生駒市独自の課題



8

1. 生駒市の森林・林業をとりまく状況と課題

1) 森林整備の基本方針

奈良県では、林業・木材産業の低迷により豊富な森林資源が利用されていないこと、また過疎化や高齢化も相まって施業放置される森林が増加し、森林の有する公益的機能の発揮に対する悪影響が懸念されることから、県は独自に新たな森林環境管理制度を構築すべく令和2年3月に「奈良県森林環境の維持向上により森林と人との共生を図る条例（以下、「森と人の共生条例」という。）」を施行した。「森と人の共生条例」では、森林の多面的機能を森林資源生産機能、防災機能、生物多様性保全機能、レクリエーション機能の4つに区分し、さらにこれら機能を最大限に発揮させることを目標としたものである。

また、県は「森と人の共生条例」では森林の4機能を高度に発揮させるために、県内の民有林を「恒続林」・「適正人工林」・「自然林」・「天然林」の4つの目指すべき森林に誘導することとしている。生駒市においても、目指すべき森林へ誘導するよう、森林の個々の自然条件等に応じた適切な施業を行うこととしている。



9

1. 生駒市の森林・林業をとりまく状況と課題

表. 目安となる地形・基盤条件

区分	地形・基盤条件
1. 恒続林	・現況が人工林 ・標高が1,200m未満(スギ・ヒノキ等の生育に適した標高) ・傾斜が40度未満(土砂の崩壊等の災害リスクを考慮) ・道路からの距離が50m未満(車両系での集材を想定)
2. 適正人工林	・現況が人工林 ・標高が1,200m未満(スギ・ヒノキ等の生育に適した標高) ・傾斜が40度未満(土砂の崩壊等の災害リスクを考慮) ・道路からの距離が500m未満(架線系での集材を想定)
3. 自然林	・現況が人工林 ・標高が1,200m以上 ・傾斜が40度以上 ・道路からの距離が500m以上
4. 天然林	・現況が天然林



10

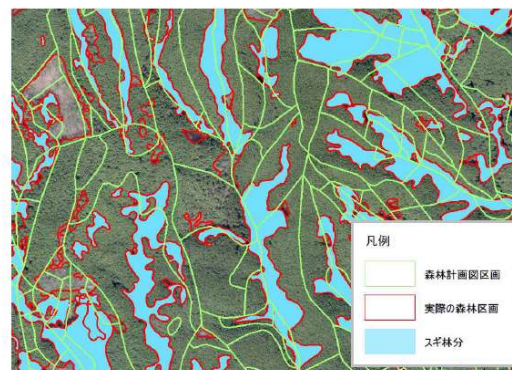
1. 生駒市の森林・林業をとりまく状況と課題

2) 森林簿との現状乖離

森林簿や林地台帳に記載された植栽木や境界などの情報は、全国的にみても必ずしも現状を正確に表したのではない状況にある。生駒市でも同様の課題がある。



例. スギ林分範囲(森林簿・森林計画図に記載されている範囲)



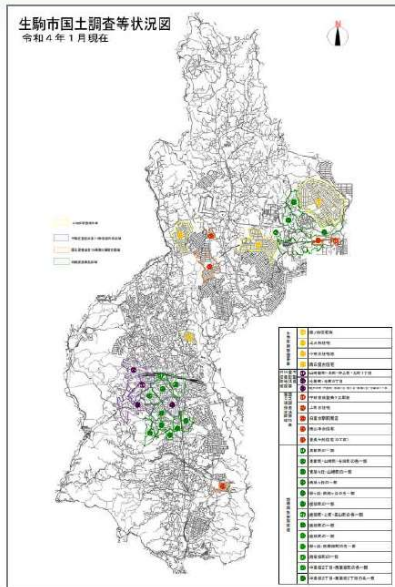
例. 実際のスギ林分範囲(航空写真より判読区分した範囲)



11

1. 生駒市の森林・林業をとりまく状況と課題

3) 地籍調査の進捗状況



地籍調査は、国土調査法に基づき実施する国土調査の一つで、土地登記簿上の一つの土地(一筆)について、その所有者・地番・地目(用途)の調査と境界確認や土地の面積の測量を行い、その結果で登記所の地図や簿冊(台帳)を正確なものに作り直す作業である。

生駒市では全体の進捗率が **6%** と、またその中心は市街地であり、森林全域についての調査が進むのはまだまだ先の事である。

1. 生駒市の森林・林業をとりまく状況と課題

4) 生駒市独自の課題

生駒市独自の問題として、竹林の荒廃が顕著化しており、人工林と同様に集落・公道等の保全対象に対して悪影響を及ぼす可能性が高まるとともに、荒廃森林の増加に伴い、鳥獣による被害が多発している。これらを抑制するためにも人工林・竹林の双方について里山の整備を早急に行うことが求められている。

また、森林計画対象森林以外にも竹林が広がっていることから、その範囲についても調査する必要がある。



竹林内の広葉樹が枯れ、電線に接触



放置された竹林内の状況

1. 生駒市の森林・林業をとりまく状況と課題

③ 木材産業に関する状況

1) 産業としての担い手

2) 素材生産と木材活用



14

1. 生駒市の森林・林業をとりまく状況と課題

1) 産業としての担い手

市区町村	林業経営体			
	計	個人経営	団体経営	法人経営
生駒市	1	1	0	0

資料：農林業センサス（2020年）



15

1. 生駒市の森林・林業をとりまく状況と課題

2) 素材生産と木材活用

素材生産と共に、木材活用についても活発ではない。木育等環境教育を進めるためにも、林業としての生業を残すためには森林資源の活用方法を検討する必要がある。

例えば、普段の暮らしの中で製材としての木材だけでなく、炭、薪ストーブ、ペレットストーブなど、様々な形で木材利用の可能性はある。

項目	経営体数	数量
素材生産を行った経営体数と素材生産量	0	0

項目	経営体数	面積
林業作業の受託を行った経営体数と受託面積	0	0

項目	経営体数
過去1年間に林産物の販売を行った経営体数	0

資料：農林業センサス（2020年）



16

以上の状況と課題より、生駒市として取り組みたい内容

- 1) 集落・公道等の保全対象に悪影響を及ぼす可能性のある森林の適切な管理
- 2) 竹林の適切な管理と伐採した竹の有効活用
- 3) 荒廃森林の増加に伴い鳥獣による被害が多発している里山林の整備
- 4) 地域住民が主体となるコミュニティの活性化を目的とした森林整備づくり

➡ 生駒市の森林整備方針の策定

➡ そのために、森林整備方針のあり方 を考える



17

危険木の処理方針について

危険度のランク分け

ただし、「ナラ枯れ被害防除事業」の対象となる樹木は除く

Aランク		住民の生命に対する危険性が極めて高い(通学路)
Bランク		住民の財産に対する危険性が高い
Cランク		歩行者や車両の通行に支障となる危険性が高い
Dランク		地震等災害時に倒木などの恐れがある